

消防だより

令和4年(2022年)
4月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 7件
救急 : 457件
救助 : 6件

令和4年度全国統一防火標語 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

6月の第2週は「危険物安全週間」です

6月5日(日)～11日(土)は「危険物安全週間」です。身の回りの危険物に関する知識の普及啓発および各事業所における自主保安体制の確立を図ることを目的としています。

危険物とは「火災が発生する危険性が高いもの」「火災が拡大する危険性が高いもの」「消火の困難性が高いもの」をいいます。その中でも、ガソリンや灯油、消毒用アルコール、塗料などは私たちの日常生活に必要不可欠なものであり、身近なところで幅広く使用されています。一方で、誤った取り扱いをしてしまうと、思わぬ事故につながる危険性があります。各家庭で取り扱う際も、身の回りにおける危険物の性質や取り扱い方法を十分理解し、事故を未然に防止しましょう。

地震に対する日頃の備え

地震はいつ起こるか分かりませんが、近年、和歌山県でも多くの地震が発生しています。被害を最小限に抑えられるように日頃から備えておきましょう。

- ・非常用持ち出し袋を準備し、被災してから最低3日分の食料や飲料、救急セット、携帯ラジオ、懐中電灯など避難生活に必要なものを入れておく。

- ※既に準備している方は、賞味期限切れや点灯不良などがないか、定期的にチェックする。
- ・住宅の耐震化や家具の転倒防止対策をしておく。

- ・避難場所や避難経路などを確認しておく。



熱中症の予防対策を正しく理解し快適な夏を!

熱中症は気温が高いなどの環境下で、体温の調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こり、めまいや吐き気、意識障害など、さまざまな症状を引き起こします。

予防方法

- ・喉が渇く前から、こまめに経口補水液やスポーツドリンクなどで水分補給する。
- ・屋内では部屋の温度や湿度を測り、扇風機やエアコン、遮光カーテンなどを利用する。
- ・屋外で人と十分な距離が確保できる場合はマスクを外す。
- ※気温・湿度の高い中でマスクをすると熱中症になるリスクが高くなるため注意が必要です。

応急手当

快適で楽しい夏を過ごすために、適切な熱中症対策を行いましょ。涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。首のまわり、脇の下、太もものつけねなど、太い血管の部分をややす。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎# 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

